



東京学芸大学附属国際中等教育学校
令和元（2019）年度
授業研究会のご案内



本校の教育研究活動にいつも関心をお寄せいただき、心より感謝申し上げます。本研究会は実際の研究討議を通して、多くの皆さまと研究内容を共有し、授業実践を深めていく場です。また本校生徒のSSH、SGHの研究成果をご覧いただく場でもあります。

今回の研究会では、次期学習指導要領の大きなテーマとなっているカリキュラム・マネジメントを進める上での課題である「教科横断的な視点」をどのように授業に落とし込むかといったことを、本校の授業実践を通して皆さまと共に検討してまいりたいと考えています。

皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

令和元(2019)年9月吉日

東京学芸大学附属国際中等教育学校長 荻野 勉

1. 期 日 令和元（2019）年 11 月 22 日（金） 12:30～17:10
2. 会 場 東京学芸大学附属国際中等教育学校
3. 内 容 公開授業，授業協議会，SSH・SGH 生徒プレゼン， SGH 情報交換会
4. 後 援 東京都教育委員会，練馬区教育委員会
5. 日 程

12:30	13:20	14:10	14:30	15:20	15:40	17:10
受付	公開授業 I	休憩・移動	公開授業 II	休憩・移動	授業協議会	
生徒課題研究 ポスター発表			SGH 情報交換会			

6. 詳 細

【SSH・SGH 生徒課題研究ポスター発表】 12:40～13:30

SSH（スーパーサイエンスハイスクール）・SGH（スーパーグローバルハイスクール）指定校事業の一環としての、本校生徒による課題研究の成果を発表します。

【公開授業】公開授業Ⅰ…13:20～14:10 公開授業Ⅱ…14:30～15:20

本校では、カリキュラム・マネジメントの実現のために、本年度より「研究グループによる授業研究」を実施しております。研究グループは、同一学年の授業をもつ異教科の教員で構成され、資質・能力等の共通性や固有性の視点から学習の転移をめざす授業研究を進めております。今回の授業研究会は、従来の教科の枠組みでの授業に加え、研究グループによる教科横断的な視点を取り入れた授業を公開します。

教科横断的な視点を取り入れた授業

1年生 技術×国語

	教科・科目	授業主題	授業者
公開授業Ⅰ	技術	ラックの製作－重要概念「システム」を考える－	馬田 大輔
公開授業Ⅱ	国語	自由詩から短歌をつくる－重要概念「システム」を考える－	浅井 悦代

2年生 国語×理科(物理)

	教科・科目	授業主題	授業者
公開授業Ⅰ	国語	Fake－虚実を見抜く目を養う	杉本 紀子
公開授業Ⅱ	理科	フェイクに対する批判的考察	長友 結希

5年生 物理基礎×数学Ⅱ

	教科・科目	授業主題	授業者
公開授業Ⅰ	SS*物理基礎	教科横断的な視点を取り入れた数学と理科の授業－運動－	西村 塁太
公開授業Ⅱ	SS*数学Ⅱ	教科横断的な視点を取り入れた数学と理科の授業－微分積分－	小林 廉

※SS科目は、本校SSH事業における研究開発の対象科目です。

DP 5年生 美術×歴史

	教科・科目	授業主題	授業者
公開授業Ⅰ	DP 美術	美術によるコミュニケーション －Art in Society－	アンドリュー・ノウルズ 嶽 里永子
公開授業Ⅱ	DP 歴史	コミュニケーションによる歴史的思考力の育成 －第二次世界大戦の開戦原因について議論する－	山本 勝治

教科の枠組みでの授業

	教科・科目	学年	授業主題	授業者
公開授業Ⅰ	現代社会	4年	戦後日本経済史から見る発展の要因分析	長谷川 智大
公開授業Ⅰ	理科(物理)	3年	見えないものに向き合う－電気と私たちの生活－	川上 佑美
公開授業Ⅱ	理科(化学)	3年	化学反応を劇で表現しよう －周期表の活用－	森本 裕子
公開授業Ⅱ	英語 Core	2年	Life of a Risk-Taker －多様な外国語活動の実践： 小説の読解とインプロンプト・スピーチ－	小林 万純

【SGH 情報交換会】 14:30～15:20

本校の SGH 事業は今年度で最終年度となります。5 年間の事業の成果と課題をご報告するとともに、WWL や今後の取り組みの方向性について先生方やご参会の皆様と意見を交換する機会を持ち、交流を深めたいと考えております。

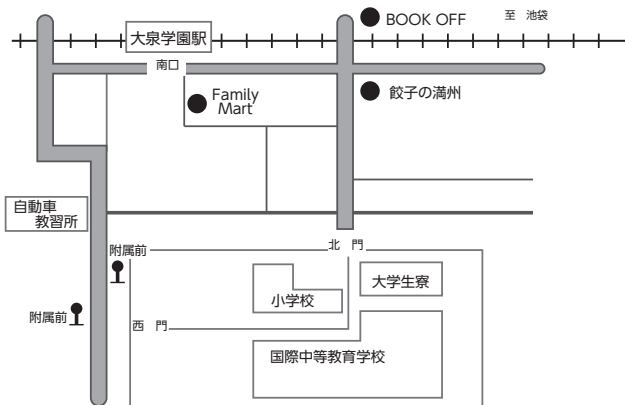
【授業協議会】 15:40～17:10

今回の授業研究会では、カリキュラム・マネジメントの視点から教科間または教科内で実践している取り組みに焦点化した主題で協議会を実施します。

	協議会主題	助言者
1 年生 技術×国語	重要概念の設定から始まる I D U の授業実践	藤野 智子(東京学芸大学)
2 年生 国語×理科(物理)	事象と現象を批判的にとらえるスキルを養う仕掛けとは	
5 年生 物理基礎×数学Ⅱ	教科横断的な視点を取り入れた 数学と理科の授業	新田 英雄(東京学芸大学) Geoff Wake(University of Nottingham)
DP 5 年生 美術×歴史	コミュニケーションスキルの活用による 概念的理解の深化 ^{※1}	小池 研二(横浜国立大学)
地歴公民科	新旧科目間カリキュラム・マネジメントを意識した 新指導要領への移行に対する実践検討・検証	
理科	コミュニケーション能力を育成するための 単元設計	岡本 正志(高野山大学顧問・ 京都教育大学名誉教授)
外国語科	多様な外国語活動を実践するための カリキュラム・マネジメント	

※1 「DP 美術×歴史」の授業協議会では、「国内 IB に関する情報共有」の場を設け、小澤大心先生（文部科学省 IB 教育推進コンソーシアム事務局、Aoba-Japan International School）に説明していただきます。

7. アクセス



電車

○西武池袋線「大泉学園駅」徒歩8分

バス

- 西武バス・関東バス「学芸大附属前」下車
- ・吉祥寺駅（武蔵関経由）より「新座栄」行
「大泉学園駅南口」行
- ・西荻窪駅（上石神井経由）より
「大泉学園駅南口」行
- ・上石神井駅より「大泉学園駅南口」行
「長久保」行

※ 駐車スペースがございませんので、お車でのご来校はご遠慮ください。

8. 参加のお申込みについて

参加のお申し込みは以下の方法でお願いいたします。

1 Web ページからの申し込み

本校 Web サイト(下記 URL)の研究活動のページより、必要事項を入力し送信してください。右の QR コードもご利用いただけます。

<http://www.iss.oizumi.u-gakugei.ac.jp>



2 郵送による申し込み

同封の参加申込書に必要事項をご記入の上、下記住所の本校研究部宛にお送りください。

〒178-0063 東京都練馬区東大泉 5-22-1

東京学芸大学附属国際中等教育学校 研究部 宛

3 FAX による申し込み

同封の参加申込書に必要事項をご記入の上、下記 FAX 番号まで送信してください。

FAX 03-5905-0317 (別途 FAX 送信状などは不要です)

※準備の関係上、**11月18日(月)**までにお申し込みください。

※参加費は無料です。

※本公開研究会は、教育関係者を対象としております。

お問い合わせ先

東京学芸大学附属国際中等教育学校

〒178-0063 東京都練馬区東大泉 5-22-1

TEL 03-5905-1326

URL : <http://www.iss.oizumi.u-gakugei.ac.jp>

FAX 03-5905-0317

E-mail : kenkyu@tguiss.jp